

活動報告書

第7号

北村克力

NAGASAKI Innovation!



討議資料

感謝。そして、再チャレンジ。

平成23年、皆様に大村市議会に送り込んで頂き、連続2期務めさせて頂きました。皆様とともに市政に携われたことは、何ものにも代えがたい経験です。心から感謝しております。

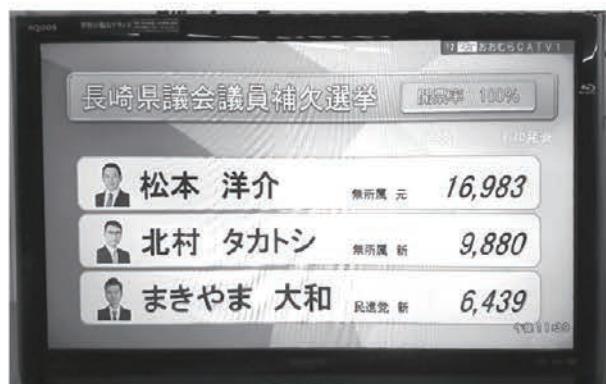
本当にありがとうございました。

市政という現場で仕事をさせて頂くなかで、大村のまちづくりには県政との連携や協調が必要不可欠、と感じることが多々あり、県政へのチャレンジを決意いたしました。

1年前から朝の街頭演説や政治活動をつみ重ね、選挙戦に突入。同世代の3名で1議席を争う真冬の戦いとなりました。

「飛び立て大村! つんのでやろうで長崎づくり。」をスローガンに掲げ、多くの皆様のご支援を頂きながら、なんとか戦い抜くことができました。本当にありがとうございました。

お陰様で9,880票のご支持を頂きましたが、残念ながら落選。結果は厳しいものでした。



すべての責任、原因は私にあります。皆様のご支持ご支援を形にできず、結果として無駄にしてしまいました。本当に申し訳ありませんでした。

落選の翌日から「とにかく御札を」と朝の街頭活動やあいさつ回りを再開。浪人となった身でも、ありがたいことに多くの方からお声かけを頂いています。

最近では「議員であれば…」と、もどかしい思いをすることもあります。それは、政策提案や行政相談を頂くとき。これまでならすぐさま関係機関に連絡したり、情報収集を行ってきたのですが、浪人の身ではどうしても限界があります。

皆さんの為に働きたい。

皆さんと共に、明るい豊かな社会をつくりたい。

そんな仕事ができるのは、選挙という「いくさ」に勝ってこそなのだと身に沁みます。

来年4月は地方統一選挙です。

私は、県政に再びチャレンジいたします。

一度立てた「志」です。ぶれることなく日々努力、精進いたします。どうかあなたの力をもう一度「長崎づくり」に貸してください。

再度のご支援を心よりお願い申し上げます。

北村タカトシ

議会活動

平成 29 年 6 月議会～12 月議会まで 3 回の本会議にて一般質問した内容をお知らせします。市議会に送っていただき、全 27 回の本会議すべてで質問することができました。



29年（6月）議会

1 奨学金給付制度の条件を見直すべきだ！

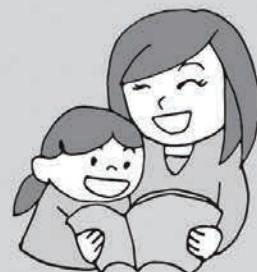
給付制度の実績はどうか？今の成績条件は厳しすぎ、東京大学や京都大学レベルに限定され門戸が狭すぎる。文科省調査では学力が高い子の世帯は高収入が多いという結果。緩和すべきは収入条件ではなく成績条件である。優秀な学生が経済的理由で進学をあきらめないように、センター試験得点率 90% を 85% に引き下げるべき。



- A.** 平成 24 年度に始まった給付型奨学金の実績については、平成 24 年度の大学生 1 人のみである。また、学業成績に関する要件は、運用の問題となるため、検討は不可能ではないが、平成 30 年度から本格実施となる国の給付型奨学金の動向を見ながら、指摘内容も含め、制度のあり方を全般的に考えていきたい。

2 主任児童委員は増員できないか？

主任児童委員は、子育て支援を担う地域のかなめである。昨今子育てを取り巻く環境は複雑化し、厳しさを増している。主任児童委員の定数は 12 名だが、市内の小学校は 15 校ある。民生委員制度が始まって 100 年の節目の年、地域の声を細やかに拾い上げ、子育て支援を強化する為にも、各小学校に 1 名の配置が必要なのではないか。



- A.** 主任児童委員の定数及び配置基準については、厚生労働大臣が定める基準を参照し、県知事が市町村の意見を聞いて定めているため、市の一存で決定することはできない。しかし、大村市民生委員・児童委員協議会連合会及び地区関係者において、増員の必要性を決定していただいた上で、県知事と定数等について協議することは可能である。

その他の質問

第 2 回多良の森トレイルラン・県内離島の大会遠征費助成・最終処分場跡地の利活用・障がい者雇用推進・産業支援センター・オオムラしごとマガジン・防災ラジオ活用状況・中央公民館等の利用規制

29年(9月)議会

1

大村湾周遊鉄道・道路で大村湾のPRを！

JR大村線は残念ながら大村湾を一周できない。周遊観光鉄道を設置しては？設置が無理ならバスや自転車、バイクやマラソンで一周する等「大村湾一周」をキーワードにした観光アクティビティを提案する。別府市を参考に市民力を借りた一周動画コンテストを行い、大村湾サミットで表彰したり、一周道路の指定や整備を提案しては？

**A.**

周遊観光鉄道については、実現困難だと感じている。また、別府市を参考にした取り組みについては、そのような手法がとれないか検討するとともに、大村湾を生かした取り組みは非常に重要であるため、来年度の重点事業に加えることも検討したい。まずは、大村湾経済圏構想の足掛かりとなる大村湾 ZEKKEI ライドを市民主導と 5 市 5 町の連携で成功させ、次の段階に向けて、関係市町との意見交換を重ねていきたい。

2

野岳湖のボート・カヌー等の使用解禁を！



野岳湖は市民の財産、もっと湖面を活用すべき。ボート等の使用解禁や、安全に着水できる桟橋等の整備は出来ないか？改修以前はペダルボート等が楽しまれていたが現在は使用禁止。全国の河川や湖面で水上レジャーが楽しまれている昨今、この禁止措置は野岳湖の魅力を半減させている。使用解禁と野岳湖水面の更なる活用を！

A.

野岳湖公園の活用について、野岳湖は農業用のため池であることから、湖面の親水性や安全性の確保ができていない状況である。自然環境を観光に生かすためには、安全面の確保が非常に重要であるが、先を見据えた積極的な湖面の活用について、キャンプ場のさらなる活用も含め、しっかりと協議を重ね、積極的に取り組みたい。

その他の質問

被扶養者の健康診断・男性職員の育児休暇の取得状況・「ファミサポ」・ALT等を活かした「特色ある教育」・特別支援教育支援員養成講座・戦争遺跡「掩体壕」の保全と活用

新市民会館 早期建設を

「つくる会」大村市に署名1万7000筆

新市民会館をつくる会は、昨年3月に閉館した大村市民会館（東本町）に代わる施設の早期建設を求めて、「新しい市民会館をつくる会」の西山常好会長らは13日、大村市役所を訪ね、要書と署名1万7000筆を園田裕史市長に提出した。筆を園田市長に提出したつくる会のメンバーは、内閣文化団体の代表者らで、6月に発足し、市民1万人の署名を集める運動を展開していた。市によると、市民会館は千人規模の大ホールを備え、文化交流の拠点として年間約10万人が利用していく予定だ。大村市立一休型図書館（仮称）の建設計画に伴い閉館。つくる会は市長は「これだけの署名が集まるとは思わなかった」と述べた。西山会長は「一日も早く大きな方向性を出せるように議論を重ねたい」と述べた。西山市長は「皆さんと想いは同じです」と話した。

「新しい市民会館をつくる会」の皆さんのが17,657筆の署名とともに請願書を提出。筆頭紹介議員となり、賛成多数で可決しました。

2017年9月14日長崎新聞より

29年（12月）議会

1 第3回多良の森トレイルランニングについて

参加者の9割以上が市外の人気レースとなった多良の森トレイル。次回は参加枠を500名に拡大。また、世界的人気レース「ウルトラトレイル・デュ・モンブラン」参加に必要なポイントを得られるレースとなる。市はどの様な支援をしていくか。また、参加権をふるさと納税返礼品に追加するよう提案したがどうなっているか。



- A.** 多良の森トレイルランニングへの支援については、今までどおり後援の立場で、人的支援など可能な限り協力したい。また、参加権をふるさと納税の返礼品とすることについては、平成30年4月8日に開催される第3回大会から取り扱うこととし、平成29年12月中にホームページ等で周知したい。

2 新しい市民会館の建設設計画について

市議会は新しい市民会館をつくる会からの請願を賛成多数にて可決した。市長マニフェストにも記載があり、これまで市長は何度も「作りたい」という意思表明をされている。市民には建設されるもの、と思われている方もいるが、実際は計画にさえ着手していない。「作りたい」から「作ります」という決意表明をして頂きたい。



- A.** 市民会館については、つくりたい。議会で請願が採択された一方、大型建設事業を控え、市民の財政運営に対する関心も高い。このため、市の持続可能な運営を前提に「つくりたい」という気持ちを伝えている。今後、財源確保や事業を整理し、見通しを立て、時期、場所、規模を含め「つくります」と言えるよう、引き続き取り組みたい。

その他の質問

骨髓移植ドナー支援制度・大村市中小企業振興会議の提言とキャリア教育、中小企業振興基本条例の改正・人口10万人を目指したまちづくり



YouTube動画配信が始まりました！

政治をより身近に感じてもらい、皆様と一緒にまちづくりをしていきたい。そんな想いから、親しみやすく少しくだけたスタイルでパーソナルな情報やまちづくり、その他いろいろなことについて語り合います。他の議員との議会反省会や、様々な分野の皆さんとのトークライブをお楽しみ下さい。

ホームページからお聴きいただけます。[北村タカトシ](http://takatosi.net) 検索 <http://takatosi.net> iTunesでも配信中！

その他の活動

街頭活動



県議補欠選挙の1年前から「#毎日立つ」と決めた街頭活動。

落選の翌日から再開し、二年目に入りました。市内各所にて行っています。お声掛け頂ければ幸いです。



岩手県立大槌病院訪問



岩手県大槌病院を訪れ、東日本大震災支援の為、大村市から移住された医師・宮村通典先生と、復興の現状や今後の課題をお伺いしました。

キャリア教育視察



中小企業家同友会の皆さんと愛媛県松山市にて雄郡小学校のキャリア教育「未来デザインゲーム」を視察。

「中小企業の課題は、つまるところ教育にあり」振興基本条例改正の必要性を強く感じました。

多良の森トレイルランニング



これまでランナーとして参加してきた多良の森トレイルランニング。

今年はボランティアスタッフとしてお手伝いさせて頂きました。

参加者の90%以上が市外から訪れるこの大会。大村の魅力を発信しました。

詳しい内容は「北村タカトシホームページ」ブログにて。

全国各地へ行政視察に赴きました

- ・熊本総合車両所・FGT 検証走行試験場
- ・鹿児島県指宿市観光協会・夢たまプロジェクト
- ・秋田県男鹿市「小学校学力向上について」
- ・秋田県秋田市「はばたけ秋田っ子・教育推進事業」
- ・岩手県立大槌病院「宮村通典医師表敬・復興状況調査」
- ・防衛省「市ヶ谷記念会館・統幕議長表敬」
- ・(公財) ブルーシー&グリーンランド財団
「海洋センター設置」
- ・東京都立川市「新庁舎建設」
- ・総務省「働き方改革のための霞が関オフィス改革」
- ・神奈川県鎌倉市「クラウドファンディングによる観光施設整備事業」
- ・茨城県石岡市「いしおかフィルムコミッショング」
- ・茨城県小美玉市「空の駅整備事業」
- ・日本モーターボート競走会・BOATRACE 振興会・日本財団
- ・ベネッセ総合教育研究所
「義務教育における課題と今後の教育改革」
- ・神奈川県横須賀市「エンディングプランサポート事業」
- ・埼玉県戸田市「待機児童緊急対策・保育士確保対策」

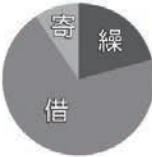
実績

- ・市長マニフェスト評価・検証につながる行政評価制度の開始
- ・福祉避難所の指定開始
- ・障がい者雇用の推進、就労支援ガイドブック
「働きたい」リニューアル
- ・大村市公式フェイスブック始動
- ・議会インターネット放送開始
- ・病時保育所増設
- ・行政窓口耳マーク(筆談マーク)設置
- ・介護支援ボランティアポイント制度一部見直し
- ・大村公園のバリアフリー提言書を提出、整備開始、花まつり期間中の歩行者天国化
- ・フッ化物洗口推進
- ・学校等におけるAED使用講習強化
- ・第5次総合計画に新たな観光資源として車輪基地活用を明記
- ・プロポーザル制度の審査結果公表ガイドライン強化
- ・人口ビジョンに10万都市の実現を明記
- ・玖島中学校へ「通級」設置
- ・総合運動公園の早期完成を求める請願書を全会一致にて可決
- ・入札情報のセキュリティ強化
- ・**中小企業振興基本条例の制定(県内初)**
- ・**骨髓ドナー支援制度を導入(県内初)**
- ・発達障害啓発パンフレット作成および小中学校への啓発
- ・コンベンション宿泊補助の拡大(100名以上を50名へ)
- ・消防団員加入資格の拡大
- ・**消防団員応援制度(公共施設使用料の減免・県内初)**
- ・議会ICT化プロジェクトが始動、ペーパーレス議会がスタート
- ・新しい市民会館の建設計画着手を求める請願書を賛成多数にて可決
- ・ふるさと納税に多良の森トレインランニング出場権

政治資金収支のご報告

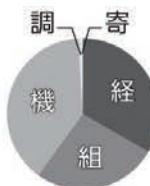
●平成29年政治活動収支

○収入総額 2,154,190 円
内訳	
縹 越 454,190 円
借入金 1,500,000 円
寄付(政党より) 200,000 円



○支出総額..... 1,917,468 円

経常経費(人件費他) 640,252 円
組織活動費 514,455 円
機関誌の発行その他事業費 741,761 円
調査研究費 16,000 円
寄付・交付金 5,000 円



○資産等 借入金..... 8,114,205 円 (全て自己資金)

●平成30年 県議会議員補欠選挙 総支出額..... 3,489,463 円 (全て自己資金)

※長崎県選挙管理委員会ホームページで全ての政治団体収支報告が閲覧できます。議会政務活動費については、大村市議会のホームページにて。



プロフィール

昭和48年2月6日生まれ 水瓶座〇型 大村市武部町在住

家族：妻 理子（医師：北村理子クリニック皮ふ形成外科）長男 馨
趣味：バイク・替え歌・山あるき

- ・市立三城小学校・市立大村中学校・県立諫早商業高校 情報処理科
- ・国立いさはやコンピュータカレッジ 卒業
- ・国立長崎大学大学院 経済学研究科（41歳で合格・在学中）
- ・社会福祉法人瑞鳳会 介護サービスセンターべいサイド大村 役員
- ・大村東彼防衛協会青年部 理事

選挙歴

平成 19 年	大村市市議会議員選挙	1,022 票	落選
平成 22 年	大村市長選挙	3,236 票	落選
平成 23 年	大村市市議会議員選挙	1,673 票	初当選
	・議会運営委員会 副委員長		
	・地場産業振興調査特別委員会 副委員長		
平成 27 年	大村市市議会議員選挙	1,554 票	二期目
	・総務委員長		
	・議会 ICT 化プロジェクト座長		
平成 30 年	長崎県議会議員補欠選挙	9,880 票	落選

政治運動関係

県内外で公開討論会を推進、コーディネーター等を務めました。

- 平成 17 年 郵政解散における長崎三区・衆議院議員選挙
- 平成 18 年 大村市長選挙において長崎県初のローカル・マニフェスト型公開討論会
- 平成 20 年 長崎一区・三区・四区 政権“せんたく”公開討論会
- 平成 21 年 福岡県柳川市長選挙 福岡県筑後市長選挙
- 平成 22 年 長崎県知事選挙 長崎県南島原市長選挙 長崎県参議院選挙
- 平成 24 年 熊本県知事選挙 福岡県筑後市市長マニフェスト中間検証
長崎県長与町長選挙 長崎県福江市長選挙 長崎一区衆議院議員選挙
- 平成 25 年 熊本県菊池市長選挙 熊本県八代市長選挙
- 平成 26 年 長崎県長与町長マニフェスト検証会
長崎県五島市長マニフェスト検証会



その他

- 平成 12 年 バイクイベント長崎ピースラリーを開催（2000年～2017年）
骨髓バンクドナー登録推進運動を発信
- 平成 17 年 （公社）大村青年会議所理事長 おおむら夏越まつり実行委員長
- 平成 20 年 （公社）日本青年会議所長崎ブロック会長
北方領土へ上陸視察・日本人墓地清掃
- 平成 23 年 宮城県にて東日本大震災復興ボランティアに参加
- 平成 24 年 骨髓バンクドナーとなり骨髄を提供
- 平成 25 年 櫻井よしこ塾頭。
(公社)日本青年会議所グローバルリーダー育成塾 第二期 最優秀塾生
東日本大震災支援活動「復興フォーラム in 大村」開催
- 平成 26 年 グローバルリーダーネットワーク副代表に就任
中小企業復興基本条例勉強会コーディネーター

最新情報はSNSにて！



北村タカトシ



@takatoshitamura



北村タカトシ後援会



@kitamura1973



北村タカトシ事務所

〒 856-0847 大村市西部町 264-1
TEL0957-52-7731(ベイサイド大村内)

【メール】info@takatoshi.net

セキュリティソフトにより、メールが自動削除される場合があります。返信がない場合やお急ぎのご用件はお電話でお願いいたします。



【ホームページ】
<http://takatoshi.net/>

北村タカトシ

検索